

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和4年度 教育委員会 第12回定例会)

開会 令和5年3月8日(水)

閉会 令和5年3月8日(水)

午前9時00分

午前10時46分

場所 西宮市役所6階教育委員会会議室

| | | | | |
|---------------|-----------------------------------------------|--------|-----------|--------|
| 出席委員 | 教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫 | 欠席委員 | 委員 長岡 雅美 | |
| 会議に出席 した職員 | 職 | 氏 名 | 職 | 氏 名 |
| | 教育次長 | 藤井 和重 | 地域学校協働課長 | 岡田 良一 |
| | 教育次長 | 漁 修生 | 学事課長 | 因幡 成人 |
| | 教育総括室長 | 薩美 征夫 | 学校教育課長 | 都志 啓二 |
| | 参与(人事担当) | 八橋 徹 | 学校保健安全課長 | 濱本 新 |
| | 学校支援部長 | 吉田 巖一郎 | 学校教育課係長 | 桑原 美和 |
| | 学校教育部長 | 杉田 二郎 | 地域学校協働課係長 | 小笠原 実穂 |
| | 教育総務課長 | 竹村 一貴 | 教育企画課係長 | 瀧井 佑介 |
| | 教育企画課長 | 原田 博司 | 教育総務課係長 | 大寺 修平 |
| | 教育人事課 | 北島 綱史 | | |
| | 教育職員課長 | 秦 淳也 | | |
| | 学校施設計画課長 | 谷木 陽介 | | |
| | 学校給食課長 | 柏木 弘至 | | |
| 署 名 | 教育長 | | 委員 | |

付 議 案 件

<教育長報告>

<議 題>

- (審)議案第55号 西宮市立高等学校規則の一部を改正する規則制定の件 [学事課]
(審)議案第56号 西宮市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則制定の件 [地域学校協働課]
(審)議案第57号 西宮市学校運営協議会委員の任命の件 [地域学校協働課]
(審)議案第58号 西宮市教育委員会公用自動車の安全運転管理者に関する規程の一部を改正する規程制定の件立高等学校規則の一部を改正する規則制定の件 [教育総務課]
(審)議案第59号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例施行規則の一部を改正する規則制定の件 [教育人事課・学校保健安全課]
(審)議案第60号 学校医の委嘱の件 [学校保健安全課]
(審)議案第61号 西宮市学校結核対策委員会委員の委嘱の件 [学校保健安全課]
(審)議案第62号 人事に関する件 ※非公開 [教育職員課]

<一般報告>

- 一般報告① 西宮市学校給食費条例施行規則の作成を依頼することについて [学校給食課]
一般報告② 令和5年度(2023年度)西宮教育の推進の方向について [学校教育課]
一般報告③ 令和4年度「にしのみや学校評価ガイドライン」アンケートの結果について [学校教育課]
一般報告④ 令和5年度教育委員の活動予定について [教育企画課・教育総務課]
一般報告⑤ 児童生徒の状況について ※非公開 [学校保健安全課]

<資料による情報提供>

- ・令和5年度 当初予算関係資料について [教育企画課]

以 上

傍 聴

0名

| | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重松教育長 | <p>ただいまより、令和4年度 第12回 教育委員会定例会を開催します。</p> <p>本日は長岡委員より欠席との届出を受けております。</p> <p>議事録署名委員には、側垣委員を指名します。よろしくお願いします。</p> <p>はじめに1月定例会について、議事録の承認を行います。</p> <p>議事録は既にお手元に送付し、確認していただきましたが、簡単な字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。それでは承認します。</p> <p>なお、簡単な字句の訂正があれば事務局にお伝えください。</p> <p>ここで各委員に確認します。</p> <p>本日は傍聴者はおられません。</p> <p>会議は公開が原則ですが、議案第62号は人事に関する案件であり、現時点では公表されていません。</p> <p>また、一般報告⑤は個人情報を含む案件であり、公開により率直な意見交換ができなくなる恐れがあるため、非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認め、非公開とします。</p> <p>審議の順番ですが、公開案件から先に行い、続いて非公開案件に移りたいと思います。</p> <p>では、はじめに私から報告をさせていただきます。</p> <p>明治5年に近代の「学制」が始まってから、150年が経過しました。そのような中、教育のあり方が大きく変わろうとしています。それは、150年という節目もありますが、コロナ禍において教育のあり方を考える機会となったり、コロナ後の教育をどうするかという問題があります。国の方でも教育のあり方や授業のあり方等について、このようにして欲しいという中間報告が出ています。</p> <p>明治5年の「学制」が始まった頃、西宮市においては、9校の小学校が開校されています。まさに文教住宅都市として、非常に早く義務教育がスタートしたということです。</p> <p>最初に小学校を立ち上げたのは浜脇小学校で、これが明治5年の出来事です。</p> |

浜脇小と山口小は実施しましたが、順次150年の記念式典を実施しているところで、4月以降も数校で予定されています。ちなみに、初期に開校した9校の中で、大社小学校だけが明治20年の開校と、少し遅かったようです。

これらの小学校はほとんどが最初はお寺が学校になっていて、そこに学校を建てるという形になっていて、小学校という名前になったのは西宮市に合併されてからのことです。それだけ西宮においては教育が盛んだったのです。

問題は今も昔も変わりませんが、授業のあり方についてです。みんなが同じことを同じペースで同じようなやり方で、同質性の高い学年学級の中で、出来合いの間と答えを勉強するシステムに課題があるということが、今言われています。

それは学校ができた時代は、産業革命など様々なことが起こったことによって、フーコーの言葉を借りると、「農村から都市に出たときに多くの人たちは、そのままでは工業社会の労働者にはなり得ない。号令をかけたところで、従うことをなかなかしない。決まった時間、命令どおりに作業をおとなしく続けるという、身体的な技法がそもそも備わっていない。そのため彼らには、工場労働者あるいは命令に従って動かなければならない人への身体的技法を身につける近代化が必要だった。」ということから学校が始まり、それが今につながっているのではないかとされています。

ただ、基本的には戦後の教育においては、①学習機会を通して個々の学力を保証するという「知」の部分。②全身的な心の発達や成長を促す「徳」の部分。それから③身体的な健康や体力の向上「体」の部分。

要するに「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行うということをやっているわけです。この部分は今もこれからも変わらず、日本型の教育の特徴です。

一方でヨーロッパやアメリカの場合は、学習機会を通して個々の能力、「知」を保証することが学校教育であり、徳や体の部分についてはカウンセラーなどが担い、スポーツについては地域での活動や、団体に入って行うということをやっている、基本的には知の部分を中心になっています。

一方で日本型教育の特徴は、知徳体をバランスよく育てていくということです。そこで何が問題かという、知の部分については授業でやるわけですが、徳や体の部分は学級会や生活指導などがそれに当たります。逆に言えば、学校ではただ単に授業をするだけではなく、学級会、体育、保健の学習をするということを通して、規則正しい生活をするということを通して学んでいくのです。また先生とつながりを持つことも特徴の一つであり、日本の教育というのは、ある意味で特殊なやり方とも言えるのですが、それが逆に日本の良さでもあるのです。しかし最近で

は、同じことを同じペースで同じやり方で同質性の高い学年学級の中で、出来合いの間と答えを勉強するというシステムに問題が起こっていて、均一性を求め過ぎていているということも言われています。求めすぎることによって子供たちが創造的、独創的なことを考えたり、様々なことに対応することができていないという問題が今起こってきています。

学習指導要領では今までですと、こういうことを学んでください、こんなことをやってください、ということを示していただけですが、平成元年に生活科や総合的な学習が新たに取り入れられたときに、今までの学びだけではなく、様々な体験したり、自分で考えるということが大切で、例えば理科と社会科を合わせてこんなことを考えてみたらどうだろうかとか、国語と算数を引っ付けてみたり、総合的に様々なことを考える学習が入ってきたわけです。

ところが冒頭でお話したような状況になっていて、学びの仕方として定着してこなかったのです。コロナの影響やGIGAスクールの導入により、学びの方法を変えていく必要があると言われていています。

学びのあり方についても、新しい学習指導要領では主体的、対話的で深い学びとされていて、今までは学びの方法までは言われていませんでしたが、学び方までも言われるようになってきています。先ほどお話したように、子供の状況や学校の状況に合わせて授業をやるということは非常に大切ではないかということです。

今回、文部科学省の中央審議会で行われているのは、個別最適な学び、個々の指導と学習の個別化についてです。また、ただ個別最適な学びではなくて、協働的な学びとして、多様な人たちと共に学びの発見や解決に挑むということや、ICTを最適に組み合わせた学びということが言われてきています。

これらを学びとして行うことによって、主体的、対話的で深い学びへとつながっていくと言われていていることから、学びの方法や、学び方についても挙がってきています。これから先、学校においてはそのようなことをやっていき、子供を育てていけないといけない状況になっています。

この件に関しては、養老さんが次のようなことを言っています。「誰かが言ったことを暗記しているだけでは役に立ちませんよ。そうではなくて、その考え方を応用することが大切です。方法を学ばないと何も学んだことにはなりません。そのためにはいろいろな体験が重要になります。例えば、身体を動かして経験から学ぶことが重要です。虫を知ろうとすると、虫だけを知るのではなく、植物や地質知らなければいけない。そのことが天気・風・湿度と広がっていく。そのために

は、それを意識化しなければならない。物事を感じ取る力を身に付けることが結局そのことが知識として役に立っていく。」ということを言っています。

やはり体験が非常に少なくなっているのではないかと思います。国立政策研究所の総合ディレクターの滝さんも、「今の教育は、時間と手間をかけて子供に体験する機会を与えることが非常に少なくなっているのではないか。」ということを言われています。

ただ単に知識を詰め込んでいるような形になっていて、そうではなくて自分で考えて知識を自分のものにしなければいけない、ということを言われています。

今日この後の懇談会で、学力向上プロジェクト事業について話がありますが、その中でも非認知の部分はどうするかということが非常に大事になります。これに関しては、AIやGIGAスクールの導入が進んできていますが、タルコフスキーという映画監督が、このようなことを言っています。「我々は物質的な発達を優先してきたあまり、自ら作りだしたテクノロジーと対抗するには全く無防備になりはててしまった。私にとって人間とは、本質的に精神的な存在であり、人生の意味とはその精神性を発展させることにある。そうしなければ社会は衰退するしかない。」と述べています。

コンピュータやAIに使われるようではだめで、それを自分に合わせたものにして使っていかなければいけないということです。最近これに合わせて言われていることとして、ユートピアとデストピアという2つの世界があり、デストピアは結局AIに使われる世界です。様々な人が小説にも書いていますが、日本でも小川洋子さんが書いていて、イギリスのブッカー賞の候補にもなりました。デストピアの世界になってしまったらどうしようもない、ということを言っているのです。脳や脳の発達について様々な研究がなされていますが、研究の一つとして、どこの部分で考えているのかということがあります。一つの例として、最近、羽生さんと藤井さんの将棋の王将戦がありました。終わった後に感想戦をするのですが、その中で普通はお互いがこの時はこのように考えた結果、このような手を指した、などと意見を交わすものです。ところが最近では、感想戦に新聞記者が入ってきて、AIの分析ではこうでした、AIによるとこの手を指せば100%勝てました、などと言うのです。それを言ってしまうと、構想も何も感想戦の意味がなく、それであればAIに全て分析を任せればよいということになってしまいます。そして、それでは感想戦の意味がなく、おかしいということを主張した棋士も現れました。その一方で、AIで分析すれば分かるのだから感想戦はしません、という棋士も現れました。対局中はAIによる分析は当然見ることはでき

ません。感想戦は、どう考えて何のためにこの手を指したのか話をする場です。それが人間と人間の戦いだと思います。今、人間はAIに全然勝てない状況です。チェスはほぼ勝つことが難しくなっていますが、将棋は取った駒を再度使うことができるため、何通りも手があるので、チェスほど簡単にはいかないようです。囲碁もチェスよりはAIに勝つ可能性がまだあるようで、そういう意味で外国でも将棋を指すのは非常におもしろい、という評価になってきているようです。このような意味でも、AIに使われる状況がおかしいのではないかなということがあります。

また、脳科学の分野では様々な発達について、ケンブリッジ大学で調べています。人間は一日に何回の選択をしているかというと、大体一日に3万5,000回判断をしています。右に曲がるか左に曲がるのか、今から食べるのか食べないのか、様々なことを考えて動いているのです。そして、ほとんどは熟考せず瞬時に判断して動いているのです。右脳は、人間のエネルギーのうちの40%を使っているので、なるべくエネルギーを使わせないように、瞬時に判断するようになっています。逆に言えば、疑ったり、慣れたことを捨てて新しいことを行うときは、脳には大きな負荷がかかるわけです。

そのため人は、自分で考えず誰かの命令に従おうとするという傾向があるのです。逆に、自分で判断して何かを考えるとときには脳が一生懸命働きます。先ほどお話した将棋や囲碁の棋士は、一日対局するだけで大体4キロやせると言われています。ですから途中でお菓子を食ったり、お茶を飲んだりしてエネルギーを補給しているのです。

それらについて興味深い話があります。あるファストフード店で、2つメニューを出していました。1つは野菜がたくさん入っていて、健康にいいことを謳ったメニュー。一方は、野菜のことなどは一切書いていないメニューです。すると、野菜が付いていないメニューでは、ハンバーグを頼む率が7%ぐらいなのですが、野菜がついているメニューではハンバーグを頼む率が20%ほど増えるのだそうです。これは要するに免罪符という考え方で、このケースでは健康にいいことをやっているのだから、それで大丈夫。という思考が頭の中に起こるようです。

同じようなことがジュースでもあるようです。A社が新しい製品を出したとき、B社の既存の商品と比べてどちらがおいしいか、社名を伝えずに質問すると、B社の既存の商品と答えたそうです。次に同じ条件で、予めどちらの会社の商品かを伝えたくて、どちらがおいしいかと質問すると、A社の商品と答えたそうです。人間の頭の中には先入観やイメージがあるので、有名でそれらが強く定着し

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ていたA社の方がおいしいと答えたと考えられます。</p> <p>何が言いたいかというと、人間は道徳的な行いを積み、免罪符をたくさん持っている人の方が、悪いことをする割合が高いのだそうです。</p> <p>これからの教育では、ただ単に教える、ただ単に理解させるだけでは不十分で、実際に行動として表すためにどうするかが大切なのです。そのためにはどんな体験をさせるのか、こんなことしたら大変なことになる、ということを経験させなければ、やはり頭の中で理解しているだけではそれが免罪符になってしまい、困ることになると言われています。</p> <p>人間とはこうあるべきだ、と倫理的に正しいことを考えている人ほど、脳にはたくさん免罪符が張り付けられており、その結果倫理的に正しくない行動に走ってしまうという結果が出ているそうです。これから道徳教育や、知徳体の「徳」と「体」をどう育てるかということについては、やはりそういう体験をとおして育てることが非常に大事だということが分かってきています。今後、西宮の教育においてもどのようにそれを発展させていくのかが課題です。</p> <p>今年度の最後の報告として、コロナが収まった後のことについて考えていかなければいけないのではないかということで、このような話をさせていただきました。私からは以上です。この件に関して何かありましたら、お願いしたいと思います。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>藤原です。どうもありがとうございます。知徳体の徳の部分は何かめっちゃくちゃ難しいことを要求されている。もうそれは何か、そんなことを教えられる先生っているんですかっていわれる。もうむちゃな、むちゃなって言ったらあかんけど、むちゃな話だなって思いました。ただこれはもう何かお仕着せのマニュアルというか、教材によって教えるものではなくて、子供たちが子供たち同士で活動する中で、それこそやはり体験の中でしか学ぶことはできないのだろうなというふうに思います。それは私たち大人の社会の縮図なわけですから、私たちが大人になって社会人になって、頭をぶつけながらいろんな学んだことを子供のうちから少しずつトレーニングしていくってことでしか得られないのかなというふうに思います。そういう意味では、やはり体験を伴ったものというのは、そこは制限してはいけないし、コロナで一番犠牲になったのはその部分だったと思いますので、もうどんどんそれを戻していくことが必要なのかなというふうに考えます。以上です。</p> |
| 山本教育委員 | <p>学制が始まって150年ということで、まさにこのコロナがあって学校の存在の</p> |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 側垣教育委員 | <p>意義というのを改めて問われて、それについて考え直すきっかけを与えてくれたという気がします。</p> <p>いろんな見方があるでしょうけれども要するに学校は、前までは行くのが当たり前だった。それを疑いもしなかった。これがコロナで休校があったり、それに伴ってネット上での学校などもたくさん出てきて、別に行かなくてもいい学校というのが登場してきた。そこが一つすごく大きいことだと思っています。</p> <p>改めて学校の存在のことを考えてみると、みんなが集まって学ぶということの意味って何ですかとか、それから生活基盤とか、居場所としての学校の意味って何ですかとか、それからずっと出ている社会的経験の場としての意味って何ですかとか、そういうことを丁寧に考えたときに、学校に集まるということの意味は、すごくあるということが確認できたように思います。ネット上の学校を否定するわけではなくて選択肢としてあっても構わないけれども、集まる学校というコミュニティとしての学校の意味というのは決してなくなっていないというか、改めてそのことが確認できたという気がしました。</p> <p>自由とか多様性という反論できないし、きれいな言葉なのですが、その言葉は見方を変えると楽ということ。楽という言葉がついてきますよね。その方が楽という。でも楽ばかりしていて、自分が確立できるのかといえば、そうではない人は、他人の中で鍛えられる側面がすごくあって、そういう点からも改めて学校の存在意義というのを確認できると思いました。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。私も鳴尾小学校出身なので今年創立150周年で、今回窓会長やっているのでその準備をこれからしていく予定ですが、そういう歴史の中で学べたというのは、とても誇りに思いますし、いろんな先輩がいるということについては、自分がその学校で学んだという誇り、それはすごく今でも感じているところです。</p> <p>教育長のお話を伺っていて、私はいつも自分の仕事柄0歳からの生まれと育ち、それから経験ということを考えるのです。学校に行ってからそういうことを大切にしていくなのかということよりも、0歳からどのような経験をしていくなのか、特に子供にとって大切な遊びなのですが、遊びの中のつながりであったり、あるいは様々な経験であったり、時にはその危険予知というか、危険な遊び、例えば今まで平面の園庭に2メートル近くの築山を作って、斜面も結構角度の強い斜面で、大人が見たら危険な部分もあるのですが、子供たちはその中で自分で工夫して、</p> |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>危なくない時にはでも少し危険なことをやってみたりとか、それも体験を通してやるわけですね。階段をのぼるとか、そこからまたいろんな遊びを工夫していくとか、遊びの質がすごく変わってきたなど。そういうものが子供たちを育てていくのだなと思います。だからいわゆる大人がこうしなさい、ああしなさいというものではなくて、子供たちが自分自身でつかんでいく、経験の中からつかんでいくということが、まさに教育長がおっしゃったようなことにつながっていくのかなと思っています。</p> <p>幼児教育・保育の中から、そういうことをつなげていかないと、子供たちの経験は伸びていかないのかなと思います。印象的な言葉がありまして、西宮の話ではないのですが、山梨県の八ヶ岳のふもとに清里というところがあるのですが、そこに保育園がありまして、その保育園は森の中の保育園なので、一日中、森で遊び回っているような保育園なのです。だからそういう保育をさせたい、そういう経験をさせたいという方に結構人気があって、他都市からも引っ越しをしてきて、その保育園に通わせたいという人も多くいます。私も見学に行って本当に素晴らしいと思いました。ところがその園長が言っていたのですが、うちでこういう経験をさせて送り出すのだけど、小学校に行くと学校給食を20分で食べるという生活になり、これはどうしたらいいのでしょうか、ということを漏らしていました。</p> <p>やはりどういう環境を提供するのかということと、子供たちの経験を大切にしていくなかで、様々な工夫が必要なのだと、その言葉を今思い出しました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>では次に、議案第55号「西宮市立高等学校規則の一部を改正する規則制定の件」を議題とします。</p> <p>学事課長、お願いします。</p> |
| 学事課長 | <p>議案第55号「西宮市立高等学校規則の一部を改正する規則制定の件」について、ご説明いたします。</p> <p>「民法の一部を改正する法律」が令和2年4月1日から施行されたことに伴い、保証人が支払の責任を負う上限となる「極度額」を定めていない個人の根保証契約は無効とされるなど、保証人に関する保護が強化されております。</p> |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>これまで高等学校の入学時に生徒の保証人を定め、別添の宣誓書・誓約書の提出を受けていましたが、高等学校での保証人の役割は、保護者の補助的または補完的な役割であり、監護・教育や財産管理などの責任や保護者に代わり授業料を納付するなどの債務を負うものではなく、民法上の保証人を連想させるような名称を誓約書に使用することは、記入者に誤解を招く恐れが生じてございます。</p> <p>そのため「保証人」と規定されている文言を「後見する者」に改めるとともに、宣誓書・誓約書の様式についても「保証人」と記載していた文言を「後見する者」に改め、その保証の範囲を記載するなど、改正を行うものでございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>これは私、無知だったんですけど、高校は例えば県立高校と私立も保護者以外に誰かを届け出させているものなのですか。</p> |
| 重松教育長 | <p>学事課長。</p> |
| 学事課長 | <p>県立高校については把握していないのですが、西宮市立の高等学校については、保証人という形で現在は取っております。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>藤原委員。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>この意味は、例えば何らか事情があって保護者の養育が期待できなくなったときとかに、学校がアプローチする先を確保するとかそういうことになるのですね。</p> |
| 重松教育長 | <p>学事課長。</p> |
| 学事課長 | <p>はい、保護者の方と共に生徒を見守っていただくというような位置付けで、保護者の方に不測の事態が生じた場合などについて、保証人の方に連絡を差し上げてご相談させていただくなどというようなことで、特にお金の面で授業料を滞納し</p> |

| | |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ているのでそれを払ってほしいなどという位置付けではございません。以上でございます。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>分かりました。</p> |
| 重松教育長 | <p>例えば修学旅行のお金を積み立てせずに修学旅行に行き、お金を払ってくださいという場合も、それは保証人には行かず、あくまでも本人の親のところへしか行きません。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>なければ採決に入ります。</p> <p>議案第55号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第56号「西宮市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則制定の件」を議題とします。</p> <p>地域学校協働課長、お願いします。</p> |
| 地域学校協働課長 | <p>議案第56号「西宮市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則制定の件」について、ご説明いたします。</p> <p>現行の規則においては、学校運営協議会の委員は、対象学校の校長の推薦により教育委員会が任命することとしており、この中には、対象学校の校長も含まれております。</p> <p>校長の人事異動があった場合、新任の校長からの推薦及び教育委員会の任命がなければ、前任の校長が転任または退職した後も委員として在籍していることになり、新任の校長が委員として在籍していないこととなります。</p> <p>このような現状との相違を是正し、校長の人事異動に伴う学校運営協議会委員の任命及び解任を円滑に行うため、対象学校の校長がその職に着任したときは委員に推薦されたものとみなし、転任または退職した時は、教育委員会は校長からの解任届の提出なしに委員を解任することができるよう改めます。</p> <p>また、先ほども述べましたとおり、学校運営協議会の委員は、対象学校の校長の推薦により教育委員会が任命することとしており、委員の任命について対象学校</p> |

| | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>の校長から申し出あったときは、校長から意見を聴取することとしております。</p> <p>しかしながら、校長が推薦する時点で、既に校長の意見は反映されているものと考えられることから、校長の推薦をもって意見聴取を行ったとみなし、校長からの意見聴取を規定した条文を削除いたします。</p> <p>資料の2ページ、新旧対照表をご覧ください</p> <p>先ほど説明いたしました、校長からの意見聴取を定めた規則第9条第3項を削除し、最初に説明をいたしました、対象学校の校長がその職に着任したときは委員に推薦されたものとみなす条項を追加し第9条第3項といたします。</p> <p>また、校長が転任または退職をもって委員を解任する条文を第18条第1項第3号に追加し、現行の同条同項第3号を第4号とし、同条第2項の委員の解任報告につきましては、対象学校の校長が転任または退職した場合は除くことといたします。</p> <p>説明は以上です。ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>新しい名簿の色が付いているところは、新任候補ということですか。</p> <p>それと。校長の内示はまだ出ていないかと思いますが、どうでしょうか。</p> |
| 地域学校協働課長 | <p>はい。そのため校長はまだ入っていないです。</p> |
| 重松教育長 | <p>分かりました。</p> <p>他にはございませんか。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>改正案のところで、一瞬おやっと思ったのが、着任したときに委員に推薦されたことにみなすって、校長が着任したばかりじゃあ誰が委員に推薦したことになるのだろうという主語が分からなかったのですが、2項を見ると校長の推薦によりっていうところの中に校長が入っているので、自分で自分を推薦する、何かこう観念的に考えると着任した瞬間に自分で自分を推薦したとみなすと。推薦という意思表示がなかったとしてもそうみなすということなのかなということで、ただそういうふうに観念的に納得できるのでいいと思います。以上です。</p> |

| | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重松教育長 | <p>ほかに、よろしいですか。</p> <p>なければ採決に入ります。</p> <p>議案第56号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第57号「西宮市学校運営協議会委員の任命の件」を議題とします。</p> <p>地域学校協働課長、お願いします。</p> |
| 地域学校協働課長 | <p>議案第57号「西宮市学校運営協議会委員の任命の件」について、ご説明いたします。</p> <p>今回、任命の対象となる候補者は、学校長からの推薦のあった人となります。</p> <p>委員の任期は、令和5年4月1日から令和7年3月31日までとなります。</p> <p>資料の2ページから12ページまでは、今回、任命する委員候補の一覧を学校ごとに記載しております。</p> <p>一番右の「在籍」の欄に「1期」と記載されている委員候補は、新規の任命となります。</p> <p>また、「2期」と記載されている委員候補は、2年間の任期満了に伴う再任となります。</p> <p>13ページ以降は、学校ごとの委員名簿となります。</p> <p>13ページから35ページまでの23校は、令和5年度に学校運営協議会を設置する学校で、全員が新しく任命する委員候補となります。</p> <p>36ページ以降は、表の網掛け部分が今回任命する委員候補となります。</p> <p>説明は以上です。ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>これは13ページからは、また新規に協議会を設置する学校の名簿ということですね。</p> |

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重松教育長 | 地域学校協働課長。 |
| 地域学校協働課長 | おっしゃるとおり13ページからの分につきましては、令和5年4月に学校運営協議会を新しく設置する学校となります。 |
| 重松教育長 | 山本教育委員。 |
| 山本教育委員 | 確認です。これは一人の方が何校の学校の委員になられても構わないということですか。 |
| 重松教育長 | 地域学校協働課長。 |
| 地域学校協働課長 | 特に制限はしておりませんので、お一人の方が例えば2校の委員に入られているケースもございます。 以上です。 |
| 重松教育長 | 山本教育委員。 |
| 山本教育委員 | これは意見ですが、前も言ったのですが、学校によって校長と教頭、教頭先生が教職員という形で代表として入っています。それはそれでいいのですが、個人的にはできれば教諭の先生が何人か入る方が学校全体の課題を共有して、みんなで学校づくりをするということの考え方にもつながるので、先生方も入ってくる方がいいと思いました。以上です。 |
| 重松教育長 | その辺りはどうでしょうか。地域学校協働課長。 |
| 地域学校協働課長 | 前回もそういうご意見をいただいております。学校の方といたしましては、特に委員に任命はされておりませんが、会議等には大体の学校で教員が入って、会議の方に参加をされておられます。そのときに学校の様子ですとか、行事の様子等の報告、それから議題の議論等に教員も参加はしております。 |
| 重松教育長 | 他にはございませんか。 |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。</p> <p>議案第57号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認め、よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第58号「西宮市教育委員会公用自動車の安全運転管理者に関する規程の一部を改正する規程制定の件」を議題とします。</p> <p>教育総務課長、お願いします。</p> |
| 教育総務課長 | <p>議案第58号「西宮市教育委員会公用自動車の安全運転管理に関する規程の一部を改正する規程制定の件」について、説明させていただきます。</p> <p>資料の3ページ以降の新旧対照表を使って説明いたします。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>今回の改正は第4条に規定する、「交通事故の防止対策、交通事故の原因調査その他安全運転に関する事項の協議を行うための安全運転推進委員会」をより適切に開催することを目的としております。</p> <p>資料の4ページ、右側をご覧ください。</p> <p>現行の規程におきましては、別表第2により委員会を構成する委員は固定されております。原則この表の委員で委員会を開催することになります。</p> <p>しかし、委員会の協議内容によりましては、別表に記載する全委員だけでは不足するものや、全委員で協議を行う必要がないものも想定されますので、協議を行う内容によりまして委員会へ参加する委員を調整し、適切な規模・内容で開催できるように改めたいと考えております。</p> <p>資料の3ページにもどっていただきまして左側をご覧ください。</p> <p>適切な規模等で開催するため、第5条の規定を改めまして、委員会を組織する者は、委員長である教育総括室長、安全運転管理者及び副安全運転管理者である教育総務課職員は固定し、それら以外につきましては、委員会の開催ごとに教育長の指名により決定することとしております。</p> <p>説明は以上です。よろしく願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> |

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>これより質疑、討論に入ります。 本件にご意見、ご質問はありませんか。 よろしいですか。 では、なければ採決に入ります。 議案第58号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。 次に、議案第59号「学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例施行規則の一部を改正する規則制定の件」を議題とします。 教育人事課長、お願いします。</p> |
| 教育人事課長 | <p>議案第59号「学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例施行規則の一部を改正する規則制定の件」につきまして、ご説明いたします。 この「学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例施行規則」は、学校医等が健康診断などで学校内やその道中におきまして、公務上の災害を負った際の補償内容を規定した同条例に基づき、別途定めたものでございます。 今回の改正は、刑法の改正により、懲役及び禁錮が廃止され、新たに拘禁刑が創設されたこと、また、併せて公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令及び政令施行規則が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行うものでございます。 説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくご願ひいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。 これより質疑、討論に入ります。 本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>学校医の先生方の公務災害というのは、どういうのを想定しているのですか。</p> |
| 重松教育長 | <p>教育人事課長、お願いします。</p> |
| 教育人事課長 | <p>これまでこれに基づいて補償するような事態は実績がございませんが、想定され</p> |

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重松教育長 | <p>るのは、道中の交通事故などかと考えております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。</p> <p>議案第59号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第60号「学校医の委嘱の件」を議題とします。</p> <p>学校保健安全課長、お願いします。</p> |
| 学校保健安全課長 | <p>「学校医の委嘱の件」につきまして、まずお手元の資料、議案第60号をご覧ください。</p> <p>大社中学校の学校医につきまして、令和5年3月31日付で辞退したい旨の申し出がございました。そのため令和5年3月31日付で解嘱し、合わせて新たな学校医を令和5年4月1日付で委嘱するものです。</p> <p>以上、ご審議をよろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。</p> <p>議案第60号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、議案第61号「西宮市学校結核対策委員会委員の委嘱の件」を議題とします。</p> |

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校保健安全課長 | <p>学校保健安全課長、お願いします。</p> <p>「西宮市学校結核対策委員会委員の委嘱の件」につきまして、議案第61号をご覧ください。</p> <p>本会委員の人事異動に伴い、令和5年3月31日をもって解嘱し、学識経験者として新たな委員を4月1日付で委嘱いたします。</p> <p>任期は、前任者の残任期間である令和6年6月30日までとなります。</p> <p>委員の内容につきましては、一覧をご覧ください。</p> <p>以上、ご審議をよろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>なければ採決に入ります。</p> <p>議案第61号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって原案は可決されました。</p> <p>次に、一般報告①「西宮市学校給食費条例施行規則の作成を依頼することについて」を議題とします。</p> <p>学校給食課長、お願いします。</p> |
| 学校給食課長 | <p>一般報告①西宮市学校給食費条例施行規則の作成を依頼することについて、ご説明を申し上げます。お配りしております資料2枚目をご覧ください。</p> <p>まず、このたびの規則改正に当たり、手続について少しご説明させていただきます。</p> <p>本来の教育委員会が制定する規則の改正であれば、手続きとして教育委員会会議に付議し、議決していただくことによって成立いたしますが、給食費の徴収は市長権限事務にあたるため、「西宮市学校給食費条例施行規則」は市規則として定められております。そのため、改正案を教育委員会で議決することができず、市長の決裁が必要となりますので、総務局に規則の改正を依頼いたします。しかしな</p> |

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>がら、学校給食に関する事務を現に担当しているのは教育委員会ですので、改正内容についてご報告させていただきます。</p> <p>まず、今回の規則における改正内容につきましては、2ページの提案理由にあるとおり、物価高騰などの影響により学校給食費を改定する一方、今年度9月定例会でご説明しました学校給食費を実質無償化する事業が3月末で終了することから、激変緩和として令和5年度については、値上がり部分に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当し、学校給食費を改定前の金額に据え置き、保護者負担の軽減を図ります。また、給食費を控除する対象にあたる事項を明示しましたほか、文言の整理を行っております。</p> <p>5ページ目に添付している学校給食費単価表において、9月定例会と同様に財源として交付金を活用していることから負担軽減の対象となる場合とそうではない場合をまとめています。</p> <p>小学校や中学校及び義務教育学校に通う児童生徒のうち、就学奨励金の給付や生活保護制度の適用を受けるほか、児童福祉法の規定による児童養護施設に入所、または里親に養育されている児童生徒に対しては、表中において、1食あたりの記載された金額を一旦当課より請求します。その後、それぞれの制度により、これまでどおり各保護者等の給食費の負担が軽減されることとなります。3つ目の特別支援学校においては、各世帯の収入に応じて給食費に対する就学奨励金の支弁額が異なり、支弁後も自己負担の残る児童生徒に対しては、当課より改定前の金額で請求を行います。</p> <p>説明は以上でございます。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>なければ一般報告①を終了します。</p> <p>次に一般報告②「令和5年度（2023年度）西宮教育の推進の方向について」を議題とします。</p> <p>学校教育課長、お願いします。</p> |
| 学校教育課長 | <p>令和5年度版西宮教育推進の方向につきましては、先月の懇談会以降の変更点等を、教育企画課、学校教育課、地域学校協働課の担当者より報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p> |

| | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育課係長 | <p>令和5年度「西宮教育推進の方向」について、2月8日の懇談会でご協議いただいた後の修正箇所のご説明をいたします。</p> <p>資料といたしまして、冊子状の「西宮教育推進の方向」と、修正箇所をA4版1枚にまとめた新旧対照表を提出させていただいております。</p> <p>なお、全体を通して、内容の変更に関わりのない、表記の統一等、軽微な修正につきましては説明を省略させていただきます。</p> <p>では、教育総括室より順にご説明いたします。</p> |
| 教育企画課係長 | <p>教育総括室所管部分の変更箇所について、ご説明いたします。</p> <p>新旧対照表をご覧ください。</p> <p>11から12ページの「令和5年度 西宮市施政方針（抜粋）」、13から16ページの「令和5年度 西宮市教育委員会 主要な事業等の概要」について、作成した原稿を掲載しております。</p> <p>教育総括室分については、以上です。</p> <p>続きまして、学校教育部の説明をお願いいたします。</p> |
| 学校教育課係長 | <p>学校教育部担当部分の変更箇所について、ご説明いたします。</p> <p>まず、61ページから63ページ「Ⅲ 令和5年度（2023年度）現職教育一覧」について、作成した原稿を掲載しております。</p> <p>次に、「資料 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応」は、政府が新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを令和5年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針としたことにより、今後、学校における対応も大きく変わることが予想されますので、混乱を防ぐため、掲載をしないこととしました。</p> <p>主な変更点は、以上でございます。なお、もし3月中に組織改正が発表されましたら、それに沿う形で、可能な限り関連ページを最終的に修正したいと考えております。</p> <p>学校教育部分については、以上です。</p> <p>続きまして、学校支援部の説明をお願いいたします。</p> |
| 地域学校協働課係長 | <p>学校支援部担当部分について、ご説明申し上げます。</p> <p>74ページから85ページについて、先月の懇談会で協議いただいた後から大き</p> |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>な変更点はございません。なお、もし3月中に組織改正が発表されましたら、それに沿う形で、可能な限り、関連ページを最終的に修正したいと考えております。私からは以上です。</p> |
| 学校教育課長 | <p>それぞれの担当より、内容についてご説明をさせていただきました。 何かお気づきの点、質問等ございましたら、お聞かせいただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。 本件にご意見、ご質問はありませんか。 よろしいですか。 では、なければ一般報告②を終了します。 次に、一般報告③「令和4年度「にしのみや学校評価ガイドライン」アンケートの結果について」を議題とします。 学校教育課長、お願いします。</p> |
| 学校教育課長 | <p>令和4年度の「にしのみや学校評価ガイドライン」アンケートの結果について報告をいたします。 「にしのみや学校評価ガイドライン」は4つの領域、12の項目、47の質問から構成され、評価指標に沿って評価者が4段階で回答するようになっています。各校からの回答を集計する際に、「達成」「未達成」の2段階に整理したものがお手元の資料でございます。 令和2年度より、義務教育学校が追加されました。そのアンケート結果を小、中の両方に含めております。 なお、令和2・3年度は、本来実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、実施できなかったものについては「実施した」として回答していましたが、今年度から、令和元年度までと同様の形としております。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザの影響がある中、各校、様々な工夫や配慮をしたうえで、教育活動が行われました。 昨年度と比較してみますと、小・中学校ともに、達成率の上がった質問、下がった質問が同程度ございました。全体の傾向としては、昨年度と大きな変化はなく、おおむね高い達成率を示しています。 昨年度課題があると考えられた項目が、資料3ページ〔6〕のキャリア教育につ</p> |

いてでした。

令和3年度には、キャリア・パスポート検討会を開催し、西宮市におけるキャリア・パスポートにかかる校内での運用・保管方法、学年及び校種間の引継ぎ方法等の方向性を検討いたしました。

令和4年度では、4月から5月にかけて、特別活動（キャリア教育）担当者会における研修動画の中で、令和3年度に検討した方向性について確認するとともに、キャリア・パスポートに取り組む意義や、引き継ぐことのよさについて、各校の担当者にお伝えしました。

これらの取り組みの結果、今年度はこの項目において、小学校・中学校ともに、昨年度と比較しますと改善傾向にあります。

しかし、①「学校の状況をふまえ、特別活動を要としながらキャリア発達の段階を考慮した組織的・計画的な取り組みを行っているか」について、小学校では約7%、中学校で5%の学校が未達成の状況にあります。

令和5年度について学校教育課では、キャリア教育担当者会等の機会を捉えて、主に次の3点について改善を促していきたいと考えています。

まず、キャリア教育担当教員が中心となり、各校にて特別活動を要としてキャリア教育を組織的・計画的に推進していくこと。

次に、学校におけるキャリア教育の目標を明確にし、兵庫県版「キャリア・パスポート」を活用し、家庭や地域とも連携しながら、小中高の接続を図り、キャリア教育を推進していくこと。

さらに、児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通したり、学びのプロセスを記述し振り返ったりすることができるキャリアノートなどの活用を進めていくこと。

これらの改善を促してまいります。

続きまして、今年度課題があると考えられた項目について確認していきます。

資料2ページ〔3〕教育課程・学習活動の⑤、それから3ページ〔5〕道徳教育の③、6ページ〔12〕安全管理の④の項目となります。

この中で、〔5〕道徳教育の③と〔12〕安全管理の④の項目について、新型コロナウイルスやインフルエンザの影響から、道徳教育や防災教育への地域の参加、また地域との連携は、検討していても、実施が難しい場合があります。

今後は家庭や地域への情報発信をより一層進め、参画・協働による道徳教育や防災教育の推進を促してまいります。

また、〔3〕教育課程・学習活動の⑤の項目につきまして、校内の研修を計画して

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>も、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響から見送ることがありました。</p> <p>令和5年度について学校教育課では、各校の研修会等にて次の点について改善を促していきたいと考えています。</p> <p>授業研究会等で、評価規準の交流と指導改善に向けた取り組みを推進していくこと。</p> <p>小学校授業研究会で、各教科の特徴を活かした指導と評価の一体化に向けた研究を推進すること。</p> <p>E d u N e t 「いずみ」に掲載中の「N－S y s W e bの操作マニュアル」を各校で活用し、根拠ある評価を推進していくこと。</p> <p>最後に、6ページの参考資料は、西宮浜義務教育学校の「にしのみや学校評価ガイドライン」アンケート結果となります。参考に見ていただけたらと思います。こちらは一校のみとなりますのでホームページでの公開はいたしません。</p> <p>各校におきましては、自己評価の結果をもとに学校関係者評価を行うと共に翌年度の学校経営の方針に反映させるようにしております。</p> <p>学校教育課におきましても、ホームページで公開すると共に、次年度以降も校長会議及び教頭会議等、並びに各種担当者会にて指導してまいりたいと考えております。</p> <p>報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 山本教育委員 | <p>これはすごく高い数値が挙がってきていて、取り組みとして頑張っておられるということがよく分かるのですが、一方でこれは学校の自己評価ですよ。これとは違う項目かもしれないけども、同じ項目に対して学校の教職員と、地域の方々の評価を突き合わせながら、そのギャップなどについて話し合いをするというようなことは大切なことだという気がするのですが、そういう取り組みというのは学校ほどの程度されているのでしょうか。</p> |
| 重松教育長 | <p>学校教育課長。</p> |
| 学校教育課長 | <p>恐らく12月ぐらいに校内の評価を集約して次年度に生かす取り組みや、地域の</p> |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>方々は参観などが難しい状況がありましたが、参観等を行った際には、学校公開を行った際にアンケートをいただくことや、コミュニティスクールに関わってくださっている方など、学校関係者の評価をいただいて、学校経営に生かしていると考えております。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ほかにはございませんか。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>昔ある学校の学校評議員会で、資料として保護者アンケートのシートを見せていただいたのですが、それを各学校とも定期的に、今も継続的にそういうのを続けていらっしゃるのでしょうか。</p> |
| 重松教育長 | <p>学校教育課長。</p> |
| 学校教育課長 | <p>各学校において保護者のご意見というのは大切なものでございますので、総数の数値まではつかんでおりませんが、ほぼ学校の方ではそういった保護者の意見を吸い上げるという取り組みを進めていると認識しております。</p> |
| 重松教育長 | <p>側垣教育委員。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>もう一つ、6ページの防災安全会議の項目4で、家庭、地域と連携して地域の実情に応じた防災教育を進めたかという点については、やはりコロナ禍で様々な行事ができませんでした。今年度からまた再開されると思うのですが、例えば段上西地区だと小学校のほか、幼稚園・保育所があので地域はたくさんあります。年に1回、数百人が集まって4階までの避難を体験するという、そういう取り組みをしていました。この数年間でできていなかったのですが、今年は復活して1月に実施したのですが、そういう定期的な取り組みは非常に重要だと思いますし、地域の人たちと顔見知りになるなど、そういう機会にもなるので、こういうところも今後積極的に進めていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 重松教育長 | <p>ほかにはございませんか。</p> <p>私の方から気になることは、7番と8番のところ、特別支援教育について100%になっているのは、おそらく通級の分だと思います。それに対し、通常の学</p> |

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>級の分がどうなっているのかという課題として、発達障害などを抱える子供たちに対して、それができているのかという問題があります。</p> <p>それから学校図書館教育については、100%になっているにも関わらず、人を配置してほしい、学校司書が要るなどと声があがるので、評価結果と要望の乖離を感じます。</p> <p>それから小学校に比べて中学校においては、100%が多いことも気になります。100%にならなかったことが悪いわけではなく、問題があるのなら対応を考えていけばいいのです。その辺りを考えてほしいと思います。</p> <p>私が教育長になったときからずっとそれを思っています。評価するのはいいのだけれど、ただ単に100%になるために評価しているのではなく、そのためにどうするかということを今後考えていくことが大切なのです。これを基にして、例えば60%ぐらいしかできていなかったけど、次に70%になればそれは改善しているのです。100%になることだけが大事だということではないので、その辺りのところがうまく各校に伝わればと思います。</p> |
| 山本教育委員 | <p>これは結局、評価基準として、西宮浜義務教育学校に出ているこの4段階でほかの学校もしていることですね。</p> |
| 学校教育課長 | <p>そのとおりです。</p> |
| 山本教育委員 | <p>そうすると3・4・2と丸が付いていたらこれはできているというふうに挙がっているということですか。</p> |
| 学校教育課長 | <p>3・4・2付いているということは、できているということです。</p> |
| 山本教育委員 | <p>そうですね。だから、3でも全部ではないけど1つ以上達成していたらこれはできているということになっているわけですね。</p> |
| 学校教育課長 | <p>そのとおりでございます。</p> |
| 山本教育委員 | <p>この評価基準とパーセントとのずれが、できるできないというところの差になっているという気がしました。</p> |

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育課長 | 少しまた次年度に向けて改善点等検討させていただきたいと思います。 |
| 重松教育長 | ほかにはございませんか。 よろしいですか。 では、なければ一般報告③は終了します。 次に、一般報告④「令和5年度教育委員の活動予定について」を議題とします。 教育企画課長、お願いします。 |
| 教育企画課長 | 一般報告④「令和5年度教育委員の活動予定について」説明させていただきます。 まず、お手元の資料の1ページですが、表の左側が、令和4年度中に教育委員の皆様にご出席いただいた活動実績をまとめたものでございます。 表の下の、欄外に小さく書いてありますが、皆様には延べ163回にわたり、会議や行事などにご出席をいただいております。 ありがとうございました。 表の右側は、令和5年度の活動予定でございます。 教育委員会会議や、開催日が確定している行事などにつきましては、表に日付を入れておりますので、ご予約の調整をお願いいたします。 なお、日付が入っていないところは、現時点で開催日が未定ですので、決まり次第お知らせさせていただき、その都度また日程調整もさせていただきます。 そのほか皆様全員でご出席いただきたいものにつきましては、早目に日程調整できるよう努めさせていただきますので、またご協力のほどよろしくお願いいたします。 また、ここ数年コロナ禍により、学校園などを公式訪問いただく機会が少なくなっておりましたが、新型コロナウイルス感染症も、5類相当へと引き下げ方針が示されるなど、一定の節目を迎えましたので、来年度から教育委員の皆様の学校訪問を再開したいと考えております。 ちょうど先月の会議の中でも、側垣委員からGIGAスクール関係の現場を見に行ければとのお話をいただいたところですので、再開する学校訪問では、教育委員の皆様の要望に応じまして、随時訪問できるような形で実施できればと考えています。 GIGAスクール関係など、課題によっては、教育委員の皆様全員と一緒に訪問していただくこととなりますが、気軽にといいですか、機動的に訪問できる仕組みにしたいと考えておりますので、例えば、「お一人であっても課題に関する学 |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>校を見に行きたい」とか「お近くの学校の様子を見に行きたい」といったご要望があった場合も、こちらの方で調整をさせていただきたいと思っておりますので、またよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、コロナ禍以前は、年に一度スクールミーティングという名前で学校を訪問したり、学校関係者とのミーティングをしたりしておりましたが、今後は、課題に応じて随時機動的に訪問ができるような形にしたいと思っておりますので、スクールミーティングという行事としての訪問については廃止したいと考えています。</p> <p>まず、先日お話をいただいた、GIGAスクール関係については、今後、具体的な訪問先や日程等をこちら事務局で調整していきたいと考えております。</p> <p>また、ほかにも訪問先のご希望等がございましたら、今日のこの場でなくても結構ですので、いつでも事務局にお伝えいただければと思います。</p> <p>資料の説明に戻ります。2ページをご覧ください。</p> <p>こちらは、教育委員の皆様お一人ずつの1年間の活動実績をまとめたものです。続いて3ページは、来年度の教育委員会会議の開催予定を掲載しておりますので、あわせてご確認くださいませよう、お願いいたします。</p> <p>説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>資料1と2ページはホームページにアップしているのですか。</p> |
| 教育企画課長 | <p>そうです。掲載しております。</p> |
| 教育企画課長 | <p>分かりました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ほかにはございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ一般報告④を終了します。</p> <p>これより非公開案件に移ります。</p> <p>一般報告⑤「児童生徒の状況について」を議題とします。</p> <p>学校保健安全課長、お願いします。</p> |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重松教育長 | (非公開) では、ここから議案第62号は秘密会で行いますので、関係者以外の職員は退出してください。 (関係者以外退出) |
| 重松教育長 | では、再開します。 議案第62号「人事に関する件」を議題とします。教育職員課長。 (事務局 提案説明) |
| 重松教育長 | 説明は終わりました。これより質疑討論に入ります。 本件にご意見、ご質問はありませんか。 (質疑討論) |
| 重松教育長 | なければ採決に入ります。 議案第62号は原案の通り可決してよろしいか。 (異議なし) |
| 重松教育長 | ご異議なしと認めます。よって原案は可決されました。 以上で予定されていた議題はすべて終わりました。 では、これを持ちまして、第12回教育委員会定例会を閉会します。 ありがとうございました。 (終了) |